



《目次》

- 6月定例会…………… 2P
- 4議員が町政を問う（一般質問）… 4P
- 研修報告（広報編集委員会）…… 8P
- インタビュー（横田憲孝さん）…… 9P

犯罪が発生しないまちづくりを

犯罪被害者支援条例可決

6月定例会

平成23年第2回定例会は、6月10日から20日まで開催された。

報告2件、予算関係7件(平成22年度専決5件、平成23年度専決1件、補正1件)、条例関係3件(制定1件、専決2件)、一般議案2件が提出され、いずれも原案通り承認・可決した。

一般質問には4人の議員が立ち、活発な議論を展開した。

制定した条例

犯罪被害者に対する支援条例

犯罪被害にあわれた住民に対して、具体的に支援するもの。

遺族見舞金 30万円
傷害見舞金 10万円

【可決 全員賛成】

その他の議案

地方税機構の規約変更

京都地方税機構が、新たに法人住民税、法人事業税及び、地方法人特別税に関する事務を行うもの。

【可決 賛成9…反対2】

図書館情報システム買い入れ

図書資料の貸出・返却、「情報システム」を913万5千円で買い入れる。

【可決 全員賛成】

改正した条例

震災被災者の住民税を控除(専決)

住宅や家財等、被災者の損失控除を、今年度の住民税に適用するもの。

【承認 全員賛成】

国保税の限度額引き上げ(専決)

課税限度額を50万円から51万円に、後期高齢者分を13万円から14万円に、介護分を10万円から12万円に引き上げる。

【承認 賛成9…反対2】

討論

反対

(今西 久美子議員)

今回の改定で、1世帯の限度額は4万円もの値上げとなり、77万円にも上る。限度額でなく、国の負担割合を大幅に引き上げることを求める。

用語解説

専決(処分)とは

議会の議決すべき事案について特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないと認めるとき、または議会において議決すべき事案を議決しないとき、町長はその議決すべき事案を処分することができる。(地方自治法第179条第1項)

京都府自治功労者表彰
弦川 孝治 議員が受賞



多年にわたり、地方自治の発展に貢献し、行政推進に尽力された功績に対して、平成23年度市町村・地域自治功労者表彰されました。

議会推せんの農業委員会委員

小山 忠成 氏 (奥山田)

山中 茂治 氏 (立川)

西川 栄彦 氏 (南)

6月定例会

平成22年度補正予算 (専決)

3月議会において可決した後、各種交付金及び補助金が確定したことにともない補正したもの。

主なものとして、財政調整基金の積み立て (1億2,000万円) を追加するもの。

(千円以下切捨て)

会計予算名	補正額	補正後の予算総額	議決
一般会計	1億 186万円	39億3,858万円	承認 全員賛成
特別会計	国保会計	▲3,300万円	11億 416万円 承認 全員賛成
	老健会計	▲118万円	402万円 承認 全員賛成
	介護保険会計	▲580万円	6億2,623万円 承認 賛成9、反対2
	公共下水道会計	▲520万円	6億8,752万円 承認 全員賛成

討論

介護保険特別会計に

反対

保険給付費が約600万円の減額。高い保険料を支払っても必要なサービスが受けられていない。「利用者の負担増」や「保険料支払い年齢引き上げ」等が懸念されている国の介護保険法改定案の改善を求める。

(今西 久美子議員)

平成23年度補正予算

今回の補正では、東日本大震災被災者の被災地における支援活動 (217万円)、震災の影響を受ける町内企業への支援 (保証料限度額50万円、利子補給金限度額50万円)、被災児童・生徒への教育支援 (183万円)、高齢者ケア支援システム導入 (569万円)、大腸ガン検診 (101万円)、犯罪被害者等支援 (40万円)などを追加する。また、国保会計では前年度繰上充入金7,100万円を追加する。

(千円以下切捨て)



被災地での支援活動(あいづ総合体育館)

会計予算名	補正額	補正後の予算総額	議決
一般会計	1,266万円	37億2,466万円	可決 全員賛成
国保特別会計 (専決)	7,100万円	11億1,787万円	承認 全員賛成

脱原発めざした取り組みを

【答】 原発行政の見直しは必至



今西久美子
議員

【質問】

東日本大震災での福島

原発の事故は、いまだに

収束のめどがたたず、多

くの方が避難生活を送っ

ている。原発の安全神話

は崩壊した。日本は、今

こそ自然エネルギーへ政

策を大転換し、危険な原

発から脱却すべき。

町長の見解は。

【答 弁 (町長)】

我が国の原子力発電事

業は、国民生活や産業経

済活動にとって欠かせな

いものとなってきたが、

今回の事故で安全性は根

本的に崩された。原発行

政の根本の見直しは必

至。今後は、安全対策が

確保されなければ認めら

れない。将来的には自然

エネルギーの開発、電気

使用量の削減対策など、

国として総合的なエネル

ギー対策を打ち立てる必

要がある。

【質問】

太陽光発電の設置補助

増額など充実を。

【答弁 (建設・環境課長)】

補助の増額について

は、財源問題が影響する

ことから、国や府の対策

を見きわめ、検討する。

地域防災計画の総点検を

【答】 国・府に沿って見直しをはかる

【質問】

東日本大震災では、「想

定外」といわれる事態が

次々起きた。今回の震災

を教訓に町の地域防災計

画を総点検し、原発事故

の対応も含め、検討が必

要では。

【答弁 (総務課長)】

国や京都府の見直しに

沿って、本町の地域防災

計画の見直しを図る。

【質問】

福井県原発から宇治

田原は約80kmから90km

もし事故が起これば何ら

かの影響が及ぶ。放射線

量の測定器を、全市町村

に設置するよう府に求め

るべきではか。

【答弁 (総務課長)】

府南部は、伏見区と木

津川市で測定しており、

その結果を参考とする。

府への要望については

は、今後対応する。

周到に準備し、野猿の捕獲を

【答】 十分検討し、慎重に取り組む

【質問】

野猿の特別駆除として

大型捕獲おりの設置を計

画している。とにかく数

を減らしてほしいという

のが多くの被害住民の声

であり、期待は大きい。

猿の学習能力を考えると、

失敗は許されない。

周到な準備が必要と考え

るが、具体的な進め方は。

【答弁 (副町長)】

今回、被害の根絶を図

ることを目的に、大型捕

獲おりを設置し、捕獲を

行いたい。他の市町村の

事例や、過去に奥山田地

区で行った実績などをも

とに、町有害鳥獣駆除対

策協議会において、設置

時期、設置場所等につい

て協議を行い、十分な研

究・検討を重ね、慎重に

取り組みたい。



太陽光等の自然エネルギーへの転換を



田中 修
議員

中央公民館は 存続するのか、廃止するのか

【答】 検討委員会を立ち上げ、方向性を示す



中央公民館

【質問】

中央公民館図書室運営規則があるが、図書室はない。中央公民館図書室運営規則は改正されるべき。

【答弁(教育課長)】

松の木文庫の図書閲覧に係る規則として残してきた。実情に合わせて整理する。

【質問】

中央公民館の利用頻度は談話室に集中し、他の利用は少ないが。

【答 弁(教育課長)】

文化協会加盟サークルや子ども会行事等、使用者が固定されつつある。運営事務はシルバー人材センターに委託している。

【質問】

新築より40年が経過し雨漏り等、老朽化が激しい。全面改修は行うのか。耐震工事等で、改修に相当な費用がかかる。利用状況と改修費、今後の維持管理費との費用対効果を見たとき、存続するには無理があると考えるが。

【答 弁(教育課長)】

存続か廃止かという結論はすぐに出せないが検討委員会を12月までに立ち上げ協議・検討し、方向性を出す。

丸山信号機付近の安全対策を

【答】 府・関係機関に要望していく

【質問】

国道307沿い、丸山の信号付近は、児童生徒が信号機の下で溜り、カーブの外側に位置する場所でもあり非常に危険だ。猛スピードで通過する車両も多い。

【答弁(教育次長)】

柵を現状より強固なものにすることは、子ども達の安全性確保にとって大変有効である。PTAとも協議する中で京都府山城教育局とも連携し、関係機関に要望していく。

縁石とパイプ製の歩道柵で暴走車を食い止めることができるとか疑問である。安心と安全の対策として現在の歩道柵から頑丈なガードレールに変更し、より安全性を高めるようにすべき。



丸山信号機付近

地震・豪雨に強い 防災対策の推進を

【答】 災害に強いまちづくりを進める



垣内 秋弘
議員

【質問】

今回の東日本大震災を教訓に災害に対する基準を総点検し見直しを図っていく必要がある。地震・ゲリラ豪雨等による土砂災害、溜池の決壊、河川の氾濫等を想定した対策が求められる。また、一時避難場所の現実的な

【答弁(総務課長)】

災害への備えとして洪水・地震ハ



防災訓練(荒木)

ザードマップなどを作成し、全戸配布しているが、地震に具体的な対応も検討していきたい。一時避

対応と備蓄物資の確保、庁舎をはじめ、避難所、公共施設等の耐震対策、全町が連携して取り組む初動・避難誘導体制の確立等が重要であるが、本町のスタンス及び考え方は。

難所は各地区公民館を指定しているが、実態に応じて臨機応変な対応も必要であり、自治会館の利活用も検討する。備蓄物資は地域防災計画の見直しと併せて考えたい。急傾斜地の要件緩和については、国や府で定められた地形条件や受益戸数など

の要件があるため、本町の意向により変更できない。公共施設の耐震対策は、今年度、役場庁舎耐震補強とバリアフリー化の設計業務を実施し、来年度以降改修工事に取り組む。中央公民館は今後、施設のあり方を含め検討していく。

有害鳥獣捕獲のさらなる強化を

【答】 大型檻による捕獲を計画

【質問】

猿、シカ、イノシシ、アライグマ等による被害は年々拡大し多様化している中で、頭数制限を行

い被害を減少する必要があるが、平成22年度の捕獲実績は。本年度は、野猿捕獲に大型檻を設置して多頭数

捕獲を計画されているが、具体的な取り組み内容は。また、現在捕獲に際し町外から定期的にはランティアで出役されていると聞く、継続するとなれば予算化も必要では。

【答弁(副町長)】

町内での捕獲は、猿6

頭、シカ156頭、イノシシ152頭、アライグマ有害捕獲で3頭となっている。近隣市町との広域捕獲を実施したが期待はずれの結果となった。大型檻の設置は駆除対策協議会を設置して、野猿の餌付けによる捕獲を計画中である。

「府道宇治木屋線」の開通見通しは

【答】 来月竣工予定で準備を進めている

【質問】

府道宇治木屋線(南バイパス)の進捗状況と完成見通しは。

【答弁

(建設・環境課長)】

来月竣工の予定と京都府から聞いており、開通式を開催すべく準備を進めている。



工事が進む南バイパス



原田周一
議員

集団茶園を地域に開かれた 体験型機能を持った施設に

【答】観光面・学習の場として活用をはかる



集団茶園

一般質問

【質問】 昨年竣工された集団茶園「宗円の郷」について、今後の施設、設備のタイムスケジュール及び資金計画は。

【答弁(副町長)】 平成22年度は、補完工事として暗渠排水工事を実施した。資金計画は、事業計画策定に当たり、集団茶園整備計画推進会議と京都府、町及びJA等により

【質問】 協議を進めていく。

【答弁(町長)】 原点は永谷宗円である。昭和の改革で、昭和39年から大福、城戸地区で23haの大規模な茶園造成が行われた。その後、共同茶工場の建設などが生産基盤の礎となっている。

協議を重ね、収支計算、防霜ファン等の導入施設、借入資金等における検討を実施、シミュレーションを策定した結果、成園になり十数年すれば経営が安定する見通し。平成25年度をめどに乗用摘採機や防霜ファンを設置予定。地域に開かれた集団茶園については、事業主体の「農事組合法人日本緑茶宇治田原」と、茶業の発展にどのように活用していけるか、また教育や環境振興などまちづくりの観点から、幅広く検討、協議を進めていく。

【質問】 町長のこの事業にはせる思いは。

【答弁(教育長)】 検討、協議の中で、体験的学習機能を備えた設備が整備されれば、学習を深めるために役立つ。将来の人材の育成にもつながる。

【質問】 荒廃茶園の対応、従事者の高齢化等、比較的急傾斜な茶園基盤では限界がある。基盤整備及び生産組織の体制づくりが必要。

集団茶園については、観光面・学習の場として、活用を図る必要がある。茶文化を世界文化遺産の登録をめざすことも、関係者で検討会が動くようだ。お茶にこだわったお茶の町としてのまちづくりを一層進めていきたい。



広報編集委員会研修 写真家を招いて写真を学ぶ



平成23年7月5日、写真家の山岡正剛氏を招き、カメラの使い方・人物撮影の基礎を学びました。

まず、前半は委員会室にて、講義を受けました。主な内容は次の通り。

- 広角・標準・望遠レンズの画角や深度の違いや特徴。
- カメラの構え方（特に広報に相応しい構え方）。
- フィルムカメラとデジタル一眼レフの違い。
- デジタル一眼レフとコンパクトデジカメとの違い。
- デジタル一眼レフの特徴と使い方。



- 絞り、シャッタースピード、ISO感度の組み合わせによる露出の考え方。
- 露出時における、ニュートラルグレー（反意味）
- 絞り、シャッタースピード（射率18%）の考え方と露出補正の実際。
- シャッタースピードの手ぶれ限界。
- シャッター速度優先の意味。

- ストロボと日中シンクロの使い方。
- ホワイトバランスの意味。
- レフ板の使い方。
- 人物撮影のポイント（逆光を使った撮影方法や露出

広角、標準、中望遠、望遠による写り方の違い



広角 (28mm)



標準 (50mm)



中望遠 (100mm)



望遠 (200mm)

の決定など。
その後、屋外にて、人物撮影の練習を行いました。

左の4枚の写真は、各レンズを使って写り方の違いを比べてみました。今後の議会だよりに生かす。

していききたいと思います。



よこた のりたか
横田 憲孝さん

宇治田原工業団地管理組合 新理事長
(大黒印刷株式会社 代表取締役)

宇治田原工業団地管理組合の第6代理事長に就任された横田憲孝さんにインタビューしました。

Q 理事長に就任されての抱負を。

A こういうご時世なので、変えるところは変え、守るところは守り、宇治田原町がよくなることであれば、どんどん提案していきたいと思っています。

Q 地域に根差した工業団地としての課題は。

A 一つには交通問題。通勤車両の生活道路への流入でご迷惑をかけています。その都度対応し、看板の設置や、従業員に対し個別に運転マナー等の指導もしており、今後とも継続してとりこんでいきます。

もう一つは環境問題。悪臭問題では、薬剤を使っている工場も多く、周辺の住民のみなさんから苦情が寄せられています。今回、期限を切って脱臭装置の更新など指導し、改善されつつあります。今後もクリーンな工業団地をめざしていきます。

Q 宇治田原町をどう思いますか。

A 保守的という感じがしています。工業団地として、積極的に住民のみなさんや町全体と意見交換等をしていく中で、様々な課題についても、具体的に解決していきたいと考えています。

Q この夏、省エネ、節電の取り組みを考えていますか。

A 工業団地全体として節電を呼び掛けてい

きたいと思っていますが、無理な節電は生産活動にも影響します。適切な節電に取り組んでいきたいと考えています。

Q どんな工業団地をめざしますか。

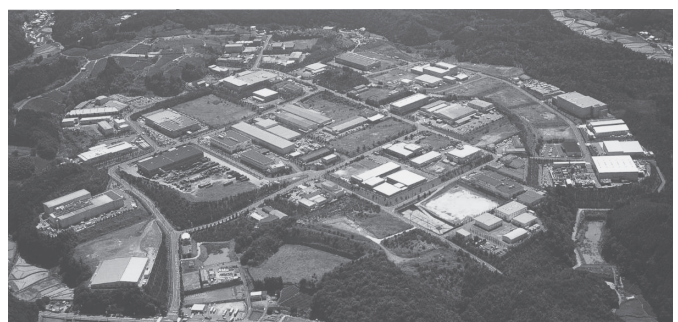
A 現在、60社が操業し、約2000人の従業員がいます。その内、町外から通勤している人が約1500人。仕事帰りに、宇治田原町内で買い物して帰るなど、お互いが潤うような関係になればと思っています。

Q 信条は。

A 私は日頃から社員に対して、最初から「できない」という言葉を言わないように指導しています。「どうしたらできるか」をまず考えることが大切。理事長として会員企業等にもお願いしていきたいと考えています。

Q 行政に望むことは。

A とにかくインフラ整備。特に山手線の開通を強く望んでいます。



宇治田原工業団地



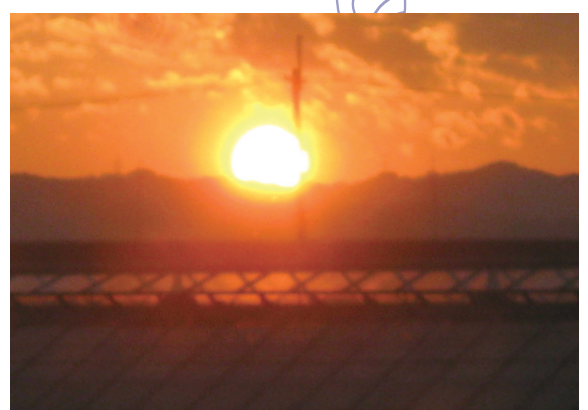
炎天下における猛訓練



あじさいと宗円生家



町交通対策協議会による啓発



今号の表紙

うだるような暑さの中、
庭ではひまわりが青空を背
に元気に咲いていて、思わ
ずシャツターを切りまし
た。いつも表紙は行事の写
真ですが、今回は夏の花に
してみました。

編集後記

みなさんに読みやすく
わかりやすい議会だより
にしようと頭を悩ませて
います。特に写真をどう
するか、難しい課題です
が、今回、写真家を招い
て研修を受けました。今
後に生かしていきたいと
思います。

今年も8月を迎えまし
た。原爆の恐ろしさと、
東日本大震災被災者のみ
なさんだけにとどまらな
い「原発」の影響をみる
とき、何とかしなければ
と思う毎日です。ご意見
をお寄せください。

広報編集委員 安本